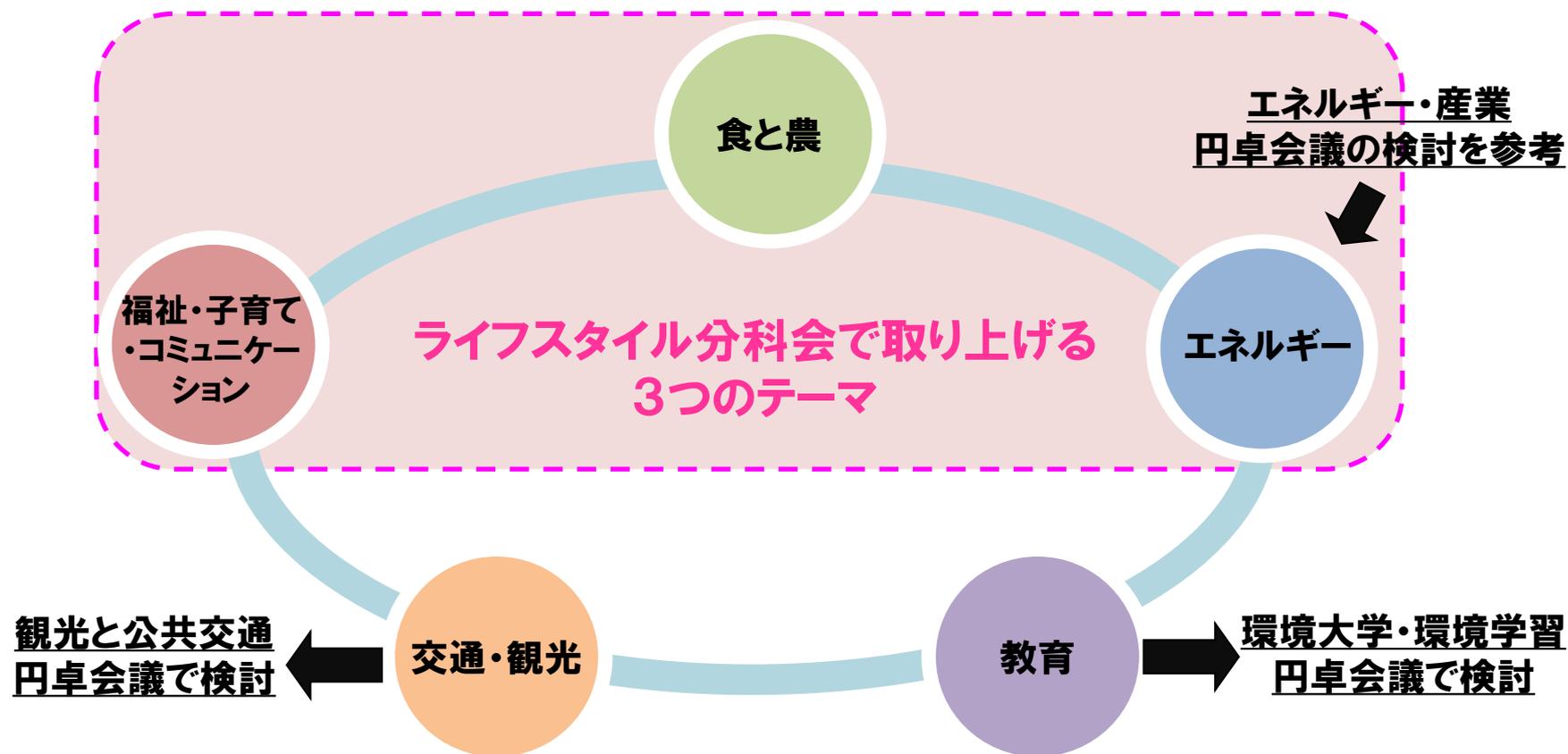


第3回 環境にやさしい暮らしの円卓会議 ライフスタイル分科会
2012年1月20日

第2回円卓会議のまとめ

円卓会議で検討するテーマの設定

- 第2回円卓会議では、第1回会議で出された意見を事務局で整理し、この円卓会議で検討するテーマを「福祉・子育て・コミュニケーション」「食と農」「エネルギー」の3つに設定することとしました。



3つの作業部会に分かれての検討【作成中】

- 設定したテーマ別に作業部会に分かれて検討を行いました。エネルギーについては、エネルギー・産業円卓会議での検討を参考にしつつ、主に需要側の取組みを検討することとし、「暮らしのエネルギー」としました。
- 出席委員全員にいずれかの作業部会に入ってもらい、自由に議論を行いました。
- 主な検討内容は次頁以降にまとめています。

福祉・子育て・コミュニケーション 作業部会

【検討内容】

- ・水俣の福祉・子育て支援の現状・問題点は？
- ・市民のコミュニケーション促進に必要な施策は？

【検討メンバー】

- ・別紙参照

【世話人：暫定】

- ・草野氏(NPOみなまた)

食と農 作業部会

【検討内容】

- ・水俣の農業の活性化や食の安全の確保、地産地消の推進に役立つ施策は？

【検討メンバー】

- ・別紙参照

【世話人】

- ・沢畑氏(愛林館)

暮らしのエネルギー 作業部会

【検討内容】

- ・水俣の暮らしに関わるエネルギーの現状は？
- ・家庭版環境ISOの普及のために必要な施策は？

【検討メンバー】

- ・別紙参照

【世話人】

- ・岩崎氏(総合経済対策課)

福祉・子育て・コミュニケーション

現状認識

- 制度はあるものの、シングルマザーや障害者に対する支援は十分とは言えないのではないか
- 認知症や発達障害の早期発見の仕組みづくりが必要ではないか
- 自殺未然防止の取組としての周りの気付きが必要ではないか
- 就業につなげる方法・制度の拡充が必要ではないか

①現状の取組と課題の把握

- 水俣市における福祉分野の現状の取組と課題を把握するために、福祉部門のメンバー(社会福祉協議会や福祉課)にも参加してもらいたい

②相談窓口・相談員の拡大・拡充

- 様々な相談が可能な窓口を拡大・充実させたい
- そのための専門性を持った相談員の育成の仕組みづくりが必要
- 既存のインフラも活用できないか

③市民が集まるコミュニティの創造

- 市民に活用される憩いの場、(コミュニティパークやたまり場)の姿を検討したい
- エコパーク、公民館、商店街、水光社など、既存のインフラを活用できないか

食と農

現状認識

- 食と農分野については、昨年までの円卓会議や水俣市内の複数の団体において、既に取り組が行われている
- ✓ 「食と農円卓会議」※昨年度
(地域産品を活用したアイス作り、炭焼きでCO2固定、菜の花プロジェクト等)
- ✓ 安心安全なものづくり、地産地消
(環境マイスター、愛林館、寄ろ会、スイーツ、給食畑、各直売・加工所など)

①スイーツ商品の開発

- 既存団体の活動と組み合わせたスイーツ商品の開発を行いたい
- 商品化や出品に結びつけることが重要
- 茶のみ場との組合せでのPRも一案

②焼酎づくり

- 水俣地域の資源「芋、米(休耕地を活用)、水」を活用した焼酎の開発を行いたい
- ビンはRビン、ラベルは環境マイスターの和紙、デザインは江口寿史氏など、水俣の特色(物語)を出す

③地域ブランド化の検討

- ①、②を含む水俣の地域産品や水をブランド化したい
- マーケット評価を得るための検討が必要

④地産地消の現状把握

- 地産地消に関するアンケート調査(農家、共販団体、お店等)を行い、地産地消の現状と課題を把握して施策につなげたい

暮らしのエネルギー

現状認識

- 水俣市のCO2排出量は一人あたり5.5t/年であり、全国平均の10tと比べて大幅に少ない。
- 昨年の「ISOのまちづくり円卓会議」で、家庭版環境ISOの検討を行った。みなまたエコダイアリーとして市民に配布している。

①再生可能エネルギーの活用

- 間伐材や竹を利用した薪ストーブの利用促進ができないか。間伐材の収集システムの検討も必要なため、森林組合にも参加してほしい。
- 太陽光発電は、学校への導入は進んでいるものの、水俣での普及率はまだ低い。
- 小水力発電について、どの程度の規模でどの程度の世帯の電力が賄えるか、具体的なデータが欲しい。
- 蓄電池は価格も高いため、現状で使うことは難しいのではないかと。

②家庭の省エネの取組

- 家庭版環境ISOへの参加者数を増やしたい
- みなまたエコダイアリーを使って、家庭の省エネを評価できる仕組みを構築できないか
- 楽しみながら、家庭の省エネを推進できる仕組みをつくりたい

今回の進め方について (事務局からの提案)

作業部会での検討項目(案)

①各テーマの5年後の目標を決める

- 各テーマにおける5年後の目標を明確にする(できれば定量的に)
- また、その目標が地域活性化にどう結び付くのか、道筋(物語)を明確にする

②水俣の現状と課題の把握

- 各テーマにおける水俣の現状と課題を洗い出し、これに対する関連の取組み、水俣にある資源の活用の可能性などを検討する

③次年度以降に行う施策(事業案)の検討

- ②の現状と課題を踏まえ、①目標を実現するために次年度以降に行うべき施策について、検討を行う
- この際、市の次年度以降に行うこととして意識した施策を検討する

今後のスケジュール予定(案)

円卓会議の実施スケジュールと各回の検討テーマ

終了

第1回合同会議（2011年9月4日）

第1回
（2011年11月8日）

- 水俣の現状と課題の確認
- 今年度の円卓会議での検討課題、今後の進め方の確認
- 「30年後の水俣像」、「5年以内に実現したいこと」の共有

第2回合同会議（2011年12月11日）

第2回
（2011年12月20日）

- 合同会議(第2回)でのアドバイスを受けての意見交換
- テーマ別に3つの作業部会の設置
- 各作業部会で検討テーマの明確化、具体的な施策の検討

予定

第3～4回
（2012年 1月20日）
（ " 2月(予定)）

- 各作業部会で現状と課題の確認把握、目標の設定等
- 目標の実現に向けて次年度以降の施策検討
- その施策が地域活性化にどう結び付くのか、道筋(物語)を明確にし、具体事業(案)を検討する

第3回合同会議（2012年3月4日）

第5回
（2012年 3月(予定)）

- 今年度のふりかえり
- 次年度以降のアクションプランと課題の整理